

一般社団法人北海道高齢者向け住宅事業者協会

2017年度（平成29年度） 第3回定例年次総会 議事録

日 時：2017年（平成29年）6月24日（土） 15：50～16：40
会 場：佐藤水産文化ホール（中央区北4条西3丁目 光洋ビル3階）
出席状況：有効総正会員数 91個（6月24日現在）

出席正会員数	17個
委任状数	38個(会長委任1個、議長委任37個)
計	55個

参考：出席賛助会員数（議決権なし） 3個

出席監事 棟達也氏

出席理事 奥田龍人氏、鹿野憲氏、石田幸子氏、川尻明氏、梅澤秀幸氏

総会に先立ち開催した総会記念事業者・市民セミナー終了後、会場設営替えし、15時45分より司会者（事務局）により出席事業者名を読みあげ、出欠者の確認がなされた。また、監査の押印済み監査報告書ならび一部修正があった第6号議案書が配布された。

その後、15時50分に総会の開会の宣言がなされた。議長には司会者一任により、会社福祉法人 協立いつくしみの会 サ高住 ぼろか管理者の大澤真奈巳氏が指名された。

議長より議事録署名人として㈱ファイブスター札幌の梅澤秀幸理事、医療法人財団 老蘇会の杉本圭右氏が指名された。その後、議長より事務局に出席状況及び委任状の提出状況報告の指示があり、事務局から出席正会員数17個、委任状数38個の合計55個と報告がされ、定款第17条の規定より、正会員の過半数を超えることから本総会が有効に成立することが報告された。

その後、早速各議案の審議に移った。

議 事

第1号議案 2016年度（平成28年度）事業報告について

第2号議案 2016年度（平成28年度）決算報告について

第3号議案 2016年度（平成28年度）監査報告について

議長より第1号議案から第3号議案までを一括審議とし、質疑も3つ全ての議案の説明後とする旨、提案があった。まず、議長指名により、石田副会長より事前配布済みの議案書にもとづき第1号議案について説明、報告がなされた。なお、冒頭の「1事業実施概要」のみ、奥田会長より説明がなされた。

続いてこれも議長指名により第2号議案について鹿野副会長より説明、報告がなされた。

第三号議案については棟監事より、当日配布の監査報告書に基づき、当該年度の事業実施ならびに会計処理を別紙として配布した監査意見書を付帯の上認める旨、報告がなされた。

3つの議案報告後、議長より出席者に質疑を求めたが特段の発言がなかったため、承認を諮ったところ拍手多数をもって原案どおりで承認された。

第4号議案 2017年度（平成29年度）事業計画（案）について

第5号議案 2017年度（平成29年度）予算（案）について

議長より第4号議案と第5号議案についても一括審議とし、質疑も2つの議案の説明後とする旨、提案がなされた。その後、議長指名により奥田会長より事前配布済み議案書にもとづき第4号議案、第5号議案の説明がなされた。

2つの議案説明後、議長より出席者に質疑を求めたところ以下の通りの質疑・応答がなされた。

質問1（正会員032、榊佐藤建設 佐藤氏）：「第4号議案 2事業活動 3」「サービス付き高齢者向け住宅等事業者・管理者研修」の実施予定が8月となっているが8月はお盆、夏休みなどイベントが重なるため、昨年私も参加したかったが参加できなかった。については、実施時期を秋口以降に変更をお願いしたい。また、受講修了者には「まる適マーク」などを付与すれば受講率が上がると思うが如何か？

質問2（正会員032、榊佐藤建設 佐藤氏）：本日の総会前のセミナーで説明された「サ高住の運営情報公表」について私も知らなかったが、まだまだ知らない事業者が多いと思う。協会として運営情報公表をしていただくように会員にもっと周知、推進してはどうか。また、運営情報の第三者確認については協会としてぜひ（事業として）やっていただきたい。

回答1（奥田会長）：昨年は、特別講師の都合で8月となった。今年も特別講師の都合もあるが秋口以降で検討します。

回答2（奥田会長）：運営情報公表については、会員でサービス付き高齢者向け住宅には今後も情報提供をしていきたい。また、運営情報の第三者確認については事業説明で述べた通り、受託に向けて進めていきたい。

回答1補足（鹿野副会長）：研修受講者への「まる適マーク」付与については以前の理事会で議論したことがあるが、今回提案いただき、本年度の研修に合わせて理事会において、再度検討したい。

質問3（正会員057、さっぽろ高齢者福祉生活協同組合 光谷氏）：監査報告で監事から、財務状況についての的確な指摘もされているところですが、繰越金が30万弱となっており、協会事業継続のために会費の値上げを検討せざるを得ない状況となったら臨時総会を開くなど早目お知らせいただきたい。

回答3（奥田会長）：（各種研修も）的確に受講参加者がいれば（財務的にも）問題ないので、宣伝の仕方など、今後考えていきたい。また、現時点では会費の値上げ考えていません。

回答3 補足（鹿野副会長）：前回の理事会においてサービス付き高齢者向け住宅の生活相談員の研修に特化していると誤解を与えているのではないかとの意見があった。本会の研修は有料老人ホーム、未届け有料老人ホームなども対象であるので、そのことを周知して受講者を募っていきたい。

また、監事からの指摘の通り、中期計画が欠けているため、なかなか今後の見通しが立っていないのでその点についても今後理事会で検討していきたい。

ここで議長よりさらに出席者に質疑を求めたが特段の発言がなかったため、議長が第4号議案、第5号事案の承認を諮ったところ、拍手多数をもって原案どおりで承認された。

第6号議案 理事の選出について

議長指名により奥田会長より事前配布済み議案書にもとづき第6号議案の退任、新任理事について説明がなされた。

第6号議案説明後、議長より出席者に質疑を求めたが特段の発言がなかったため、承認を諮ったところ拍手多数をもって原案どおりで承認された。議長指名により新任理事の坂本正樹氏（社会福祉法人 札幌東勤労者在宅医療福祉協会）、本見研介氏（株式会社エムリンクホールディングス）のお二人に登壇いただき、簡単な自己紹介がなされた。

以上で、あらかじめ提出の議案すべての審議を終了し、議長より司会者（事務局）にマイクが戻された。司会者より議長への謝辞の後、議案以外での連絡会の運営や要望について会場の発言、また研修参加者が横這い、あるいは下降ぎみのため、参加者を増やすための意見を求めた。

発言1（正会員057、さっぽろ高齢者福祉生活協同組合 光谷氏）：研修については1回限りではなくステップアップあるいはフォローアップとなる研修をしていただければ、研修に出る機会も増え、職場でも評価されることにつながれば有効と思う。

発言2（正会員051、㈱ファイブスター札幌 梅澤理事）：各研修、セミナーについても会員だけに限ってはなかなか広がらないので幅広く周知をすれば、参加者も増え協会の収入につながるのではないか？

発言2へ説明（事務局）：主たる研修、セミナーについては会員は勿論、道内サ高住、札幌市内未届け有老など800通～1000通程度を年に6回以上郵送しているのが現状です。郵送以外の違うチャンネル(媒体)を使った周知方法の検討が必要かもしれません。

発言3（正会員032、㈱佐藤建設 佐藤氏）：研修については事業者の皆さんはお金も時間も無いのが現状なので、先ほど申した「まる適マーク」、法的なしばりなどのインセンティブが必要ではないか。

以後、会場から特に発言はなく、16時40分に閉会を宣言した。

上記内容に相違ないことを確認の上、署名・捺印する
2017年（平成29年）6月24日（土）開催分

(一社)北海道高齢者向け住宅事業者協会 第3回定例年次総会議事録署名欄

議長 会員番号059：社会福祉法人 協立いつくしみの会
サ高住 ぼろか 管理者

大澤真奈巴 印

議事録署名人 会員番号051：(株)ファイブスター札幌(理事)

梅澤秀幸 印

議事録署名人 会員番号049：医療法人財団 老蘇会

杉本圭右 印

議事録作成 事務局 立花

以上